



モーツァルト・セミナー

ザルツブルクに帰ったモーツァルト。開花する才能と音楽家としての自覚

～ LPレコードとピアノ生演奏で繋ぐモーツァルトの人と作品～
ピアノ演奏とお話：江端津也子

第3回：ザルツブルクにて開花する才能と音楽家としての自覚

このモーツァルトセミナーは、2017年6月に第1回をスタートしました。モーツァルトの人生と作品を時代を追って語りながら、ピアノ生演奏とカーサ・モーツァルト所蔵のLPレコード鑑賞を交えてシリーズで行うセミナーです。

第1回 [モーツァルトは生まれた時から天才だった?] 父レオポルトの優れた教育

第2回 [西方への大旅行、旅がモーツァルトにもたらしたものは?] 多文化の吸収と実践

そして今回 第3回 [ザルツブルクにて開花する才能と音楽家としての自覚]

西方の大旅行から故郷ザルツブルクに帰ったモーツァルト。旅で学び体験した文化、音楽、言語を自らの成長に生かし、真の音楽家としての地位を確立していきます。この時期にもイタリアやウィーン、ミュンヘンへの旅行を行い、学んだことを生かしてオペラの作曲を次々行いました。まだ10代であったモーツァルトには、すでにオペラの作曲の依頼もあり、彼の名声、実力は世に知られてきていたのです。

カーサ・モーツァルト所蔵のLPレコードの中から、この時期に作曲されたオペラ、「ボントの王ミトリダーテ」「ルーチョ・シツラ」などを中心に、弦楽四重奏曲、交響曲も抜粋でお聴きいただきます。

今回のピアノ生演奏は、この時期に作曲された変奏曲、「サリエリの主題による変奏曲」、「フィッシャーのメヌエットの主題による変奏曲」の2曲を取り上げます。今回のフィッシャーの変奏曲演奏によって、奏者は現在までの演奏会にて、モーツァルトピアノ変奏曲全曲完奏となります。

そして、このセミナーの主催、カーサ・モーツァルトの設立者中村澄枝様に、モーツァルトの人生をヨーロッパの旅で探求し続け、その音楽を愛して止まない貴重なトークをお願いしております。

モーツァルトセミナーの企画も3回目を迎えました。初回からお聞き下さる方はもちろん、今回初めて参加される方にも楽しんでいただけますよう、第1回、2回の内容にも触れながらお話しして参りたいと思っております。どうぞご期待下さい。

江端津也子：ピアニスト

東京出身。3歳の時母の手ほどきでピアノを始める。第22回日本学生音楽コンクール入賞。都立芸術高校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部器楽科卒。同大学院音楽研究科ピアノ専攻修了。ウィーン国立音大ゼミコンクール第1位。1983年カーサ・モーツァルト開館記念コンサート演奏を機に活動を始め、リサイタル、自主企画サロンコンサート、NHKFM午後のリサイタル、フレッシュコンサートに出演。ポーランド大使館招聘演奏など、ソロ、室内楽、伴奏の活動を行い後進の指導にも力を注いでいる。モーツァルト生誕250年の2006年にピアノソナタ全曲を完奏。モーツァルト作品、近代フランス作品の演奏を数多く手がけ度々演奏会で取り上げている。ピアノを安川加壽子、奥村洋子、河村昭三の各氏に室内楽をアンリエット・ピュイグ＝ロジェ女史に師事。現在、日本演奏連盟、日本フォーレ協会、日本ピアノ教育連盟、モーツァルティアン・フェライン会員。

日時：2018年 5月13日（日） 14:00～16:00

参加費：2,500円 ペアでお申込み 4,000円（2名）※要予約

ご予約・お問い合わせ

Email: info-cmma@casamoz.org

Tel: 03-3402-1756 Fax: 03-3497-1833

東京都渋谷区神宮前 1-10-23 3階

URL: <http://casamoz.org/>

Casa Mozart
MUSIC ASSOCIATION



JR「原宿駅」表参道口 徒歩5分
東京メトロ「明治神宮前駅」出口5 徒歩2分